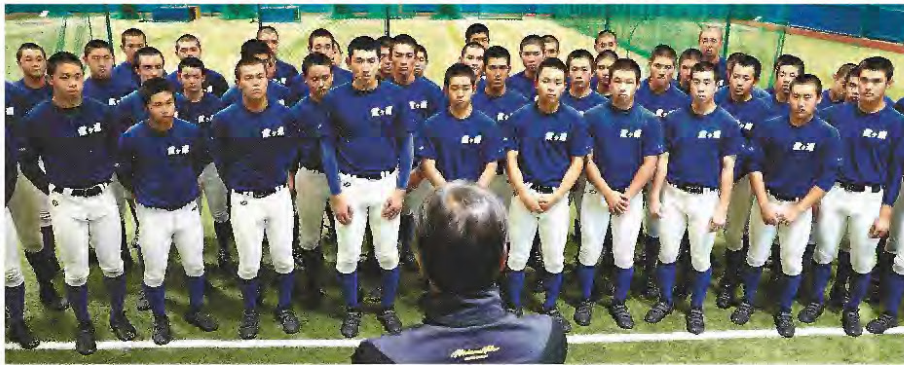


# 夏の甲子園も中止

日本の夏の風物詩は、お祭りに花火、スイカ……と様々ですが、野球の高校日本を決める「夏の甲子園」も大イベントです。この夏の甲子園が5月20日、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、中止になってしまいました。



監督(手前)から夏の甲子園大会の中止の知らせを聞く、茨城県の野球部員たち(5月20日、茨城新聞見聞)

再開したブンデスリーガの試合で、密着でマスクをして距離を保つ選手たち=AFP時事



## ドイツ・サッカー 無観客で再開

海外では、台湾や韓国の野球のようにスポーツの試合や大会を再開する動きが出ています。ドイツのサッカーリーグ・ブンデスリーガは、5月16日に再開しました。でも、大勢の観客が入るはずのスタジアムには誰もいません。しばらくの間は無観客で試合をします。味方のゴールが決まっても、選手たちはいつものように抱き合ったり喜びません。ベンチ入りしている選手は、空席のスタンドから試合の行方を見守っています。選手からは、「ファンから力をもらえないのは残念」という声も上がっていました。

プロの世界では、試合がないことで選手の給料が払えない問題が出ています。「リーグの鹿島アントラーズでは、過去の試合が中継されるのに合わせて、当時出場していたOJや現役選手が登場して解説。寄付を呼びかける取り組みを行っています。」

## 「3密」の恐れ / 練習不足

大会の主催者は、全国からたくさんの方が甲子園にやってくることに不安がありました。甲子園が感染源となって、日本中に新型コロナウイルスが広がることを恐れたのです。

都道府県大会は7月から始まる予定でした。でも、休



「夏の甲子園」が行われる予定だった甲子園球場

いました。高校を卒業後は、野球以外のことをする人もたくさんいます。大会中止にみんながとも残念がっています。

それでも、大会の主催者は、全国からたくさんの方が甲子園にやってくることに不安がありました。甲子園が感染源となって、日本中に新型コロナウイルスが広がることを恐れたのです。

「夏だったら開催してもいいんじゃないの？」と思う人もいるかもしれませんが、確かに、新型コロナウイルスの感染は徐々に収まっています。

それでも、大会の主催者は、全国からたくさんの方が甲子園にやってくることに不安がありました。甲子園が感染源となって、日本中に新型コロナウイルスが広がることを恐れたのです。

「夏だったら開催してもいいんじゃないの？」と思う人もいるかもしれませんが、確かに、新型コロナウイルスの感染は徐々に収まっています。

## インターハイやジュニア五輪も

中止になっているのは野球だけではなく、インターハイや全国中学校体育大会、小学生も出場するジュニア五輪と、次々中止になっています。みなさんの中にも、最後の大会や発表会がなくなってしまった……という人もいます。

一部では、全国大会の代わりに、都道府県単位で大会をやるという動きもあります。中止になったジュニア五輪は、各地で記録会を行って全国ランキングで一番を決める「通信大会」を開催する予定です。文化

系の部活で争う全国高校総合文化祭は、オンラインで作品を集めて発表して行うことになりました。

ただ、サッカーや野球、バレーボールといった団体スポーツは、相手と同じ場所にいないと試合ができません。大きな大会ができるようになるには、まだ時間がかかりそうです。